

# 参 考 資 料

- 「特別支援教育在り方検討委員会」の提言概要について . . . 25
- 特別支援学校の設置状況 . . . 26
- しまね教育魅力化ビジョン「家庭・地域と連携・協働した学校教育の展開」 . . . 27
- 家庭・地域と連携・協働した特別支援教育の展開 . . . 28

## 「特別支援教育在り方検討委員会」の提言概要について

### 1 検討経過

平成31年4月に外部有識者17名による特別支援教育在り方検討委員会を設置。

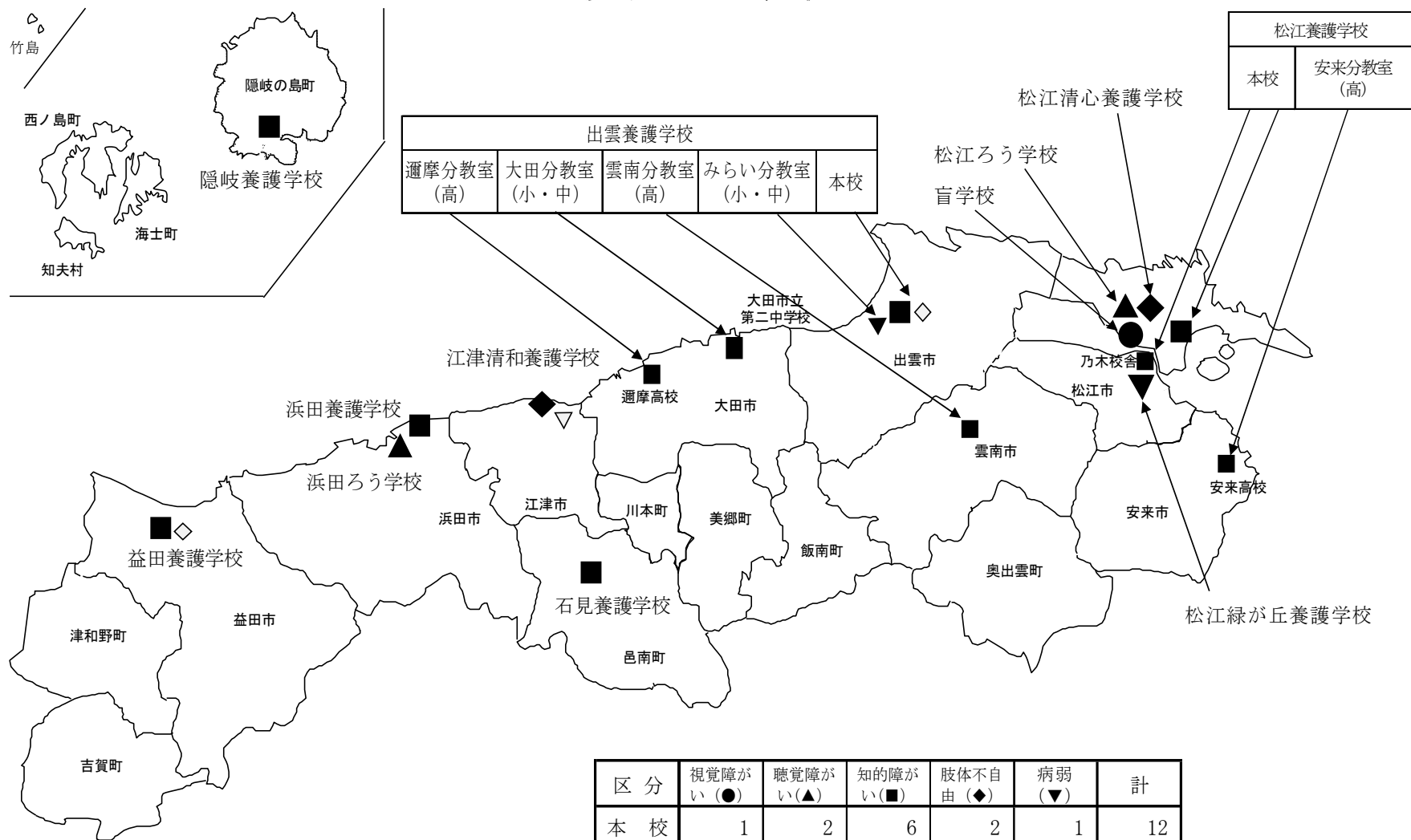
令和元年5月～令和2年3月までの間に検討委員会を7回開催し、下記項目について検討。

令和2年3月26日に県教育委員会あて提言書提出。

### 2 検討項目と主な提言内容(今後の方向性)

検討項目		主な提言内容(今後の方向性)
特別支援学校	職業教育・就業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の障がいや適性に応じた職業教育の充実、実習先や就職先の確保についての対応。</li> <li>・障がいに応じた職業教育の推進に向け、教育内容の見直しを検討。</li> </ul>
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の障がいに対する理解が深まり、地域の中で子どもたちが育ち、地域に貢献していけるように、特別支援学校と地域が連携していくための仕組みを検討。</li> </ul>
	医療依存度の高い児童生徒の安全安心な教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒の情報を学校と関係機関が共有し早期からの支援につながる仕組みの検討。</li> <li>・学校看護師の確保や専門医からの助言等が受けられるシステムの検討。</li> </ul>
	通学支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自立と社会参加や通学に関わる保護者の送迎の負担軽減を考慮して、様々な観点から通学支援を検討。</li> </ul>
就学前		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、保護者、保育士、教員をサポートする体制整備を充実。</li> <li>・視覚障がいのある子どもへの支援を早期から適切に行うため幼稚部設置の検討。</li> </ul>
小・中学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいの可能性があり集団に入りにくい子ども等の学習の場、生活の場の検討。</li> <li>・校内委員会の活性化や特別支援教育コーディネーターの役割の明確等、校内支援体制の機能強化と関係機関との連携を推進する仕組みの検討。</li> </ul>
高等学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>・合理的配慮の提供が推進されるよう、教職員が判断に迷ったときに相談できる体制の検討。</li> <li>・通級による指導の拡充に向け、設置のあり方等について検討と担当者が協議、研修できる仕組みづくり。</li> </ul>
理解・啓発		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもと障がいのない子どもが相互に理解を深めていくために、人権教育の理念をふまえた交流及び共同学習や理解教育の促進を意図的・計画的に推進する仕組みを検討。</li> </ul>
切れ目ない支援体制		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画の作成と活用を促進。</li> <li>・市町村教育委員会と連携し、定期的に校内委員会等で適性な学びの場を検討する仕組みを構築。</li> </ul>
教職員の専門性の向上・人材育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の魅力を発信し、特別支援教育を担う人材を確保。</li> <li>・特別支援教育を担う人材や、より専門性が高く、特別支援教育の中核を担う人材を計画的に育成する仕組みの検討。</li> </ul>
関係機関との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関が情報を共有し連携していくための仕組みの検討。</li> <li>・個別の教育支援計画を活用し、連携の明確化。</li> </ul>

# 特別支援学校の設置状況



区分	視覚障がい (●)	聴覚障がい (▲)	知的障がい (■)	肢体不自由 (◆)	病弱 (▼)	計
本校	1	2	6	2	1	12
分教室			4		1	5

- (注1) ▽ H22.4 江津清和養護学校で病弱教育実施
- (注2) ◇ H24.4 出雲養護学校、益田養護学校で肢体不自由教育実施
- (注3) 乃木校舎を松江養護学校高等部の一部としてH24.4に設置

# 家庭・地域と連携・協働した学校教育の展開

学力を育む・社会力を育む・人間力を育む

高等学校・高等部

社会・上級学校

中学校・中学部

小学校・小学部

就学前

**自発的な遊びや生活を通して培う**

- 見通しを立てて行動したり、思い切り体を動かしたりし、健康な生活を送る。
- 感動する出来事に出会い、それを絵や歌、踊りで表現する。
- できないことや自分でやりたいことを、工夫したり考えたりし、粘り強く取り組む。
- 友達と共通の目的の実現に向けて、工夫したり協力したりしてやり遂げる。
- 善悪があることに気づき、きまりを作るなど、友達も大切に協力する。
- 絵本などに親しみながら、話したり聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむ。
- 身近な事象に、工夫、予想してかかわったり、友達と新たな考えを生み出したりする。
- 遊びを通して、数や文字を親しみをもって使ったり、物の形や大きさ、量の感覚をもったりする。
- 身近な地域のひと・もの・ことに触れることで、地域や社会に親しみをもつ。
- 身近な自然に関心や愛情をもったり、生命を大切にすることをもちたりする。

## 学力を育む

- 身のまわりの生活や地域とのかかわりを通して知的好奇心、学ぶ意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る。
- 学校図書館やICT機器等を活用し、伝える力や情報を集め整理する力、読み取る力を育む。

## 社会力を育む

- 身近な社会とのかかわりを通して、自分の夢や希望を膨らませる。
- 身近な地域について、知る、感じる機会を設定することで、関心を高める。
- 身近な地域の教育資源(ひと・もの・こと)に触れることで、ふるさとへの愛着や誇りを育む。
- 外国語教育などを通して多様な文化に触れ、親しみを感じられるようにする。
- 係活動や委員会活動などを通して、働くことの意義について考える。

## 人間力を育む

- 自分の好きなもの、大切なものを持ち、自分を信じる心を育む。
- 人や自然とのかかわりの中で、よいところを見つけようとする心を育む。
- 返事やあいさつ、時間や約束を守る等の、基本的なふるまいができるようにする。
- 様々な活動・体験の中で、自分の役割や責任を知り、役立つ喜びや自尊感情を育む。
- 自分と友達の違いに気づき、受け止めようとする態度を育てる。
- 様々な実体験を積み重ねて、たくましさややささなどを育む。

## 学力を育む

- 実生活、地域・社会や将来とのかかわりを通して、学ぶ目的や意義を理解し、学ぶ意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 自らの進路を考えた、主体的で計画的な家庭学習ができるようにする。
- 学校図書館やICT機器等を活用し、言語能力や情報を取捨選択して読み取り主体的に活用できる力を育む。

## 社会力を育む

- 社会との積極的なかかわりを通して、自分の特性、自分らしい生き方について考え、将来を想起する力を育む。
- 地域社会の実態に触れることを通して、地域と自分とのつながりや地域の課題等への関心を高める。
- 地域の教育資源を活用した学びを通して、ふるさとへの貢献意欲を育む。
- 異なる文化や考えへの関心を高め、自分の世界を広げようとする態度を育む。
- 職場体験やボランティア活動等を通して、勤労観・職業観を高め、助け合って生きる喜びを体感できるようにする。

## 人間力を育む

- 自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮しようとする心を育む。
- 集団でのかかわりの中で、他者を尊重しながら役割を果たそうとする心を育む。
- 返事やあいさつ、時間や約束を守る等の、場や状況に応じたふるまいが意識的にできるようにする。
- 様々な活動・体験を通して、集団の中での役割や責任の存在を意識し、人間関係を築く上で必要な力を育む。
- 互いの考えや立場を認め合い、協働していこうとする態度を育てる。
- 様々な実体験の積み重ね(成功・失敗・挫折など)を通して、学び続けていく力の基盤となる集中力、持続力、柔軟性を育む。

## 学力を育む

- 学びの先にある社会を意識し、自ら挑戦していく意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 実社会や自らの将来に役立つ、専門的な知識や技能を育む。
- キャリア形成に向かい、主体的で、計画的な学習ができるようにする。
- 学校図書館やICT機器等を活用して情報を収集し、的確に対応できる力等を育む。
- 生涯にわたる学びの基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育む。

## 社会力を育む

- 社会との多様なかかわりを通して、自分の特性を生かした社会貢献のあり方を具体的に想起する力を育む。
- 他地域の実態や異文化に触れる機会を通して、多角的な視点でふるさとを捉えることで、ふるさとの魅力や課題に気づくようにする。
- 地域課題解決に取り組む学習を通じて、当事者意識をもったふるさとへの貢献意欲を高める。
- 多様な価値観を理解し、国際的な視野をもった行動、コミュニケーションができるようにする。
- インターンシップや企業見学、セミナー等を通して、地域社会のあり方や自らの生き方を考えるよう促す。

## 人間力を育む

- 多様なかかわりを通して、生命の尊さを感じ、他と共生しようとする心を育む。
- 挨拶や時間遵守等、社会で通用するマナーを身に付け、場や状況に応じたふるまいが自発的にできるように育む。
- 各種の体験的活動を通して、社会に主体的に参画していくために必要な力や態度を育む。
- 人権が尊重される社会を実現しようとする意欲や実践力を育む。

## in 地域の中で体験する・浸かる

- 様々な感覚を使って地域を体験する。
- 地域での「原体験」や「原風景」を深く、多くもつことで、愛着や郷土愛の土台を育む。

## about 地域について知る・伝える

- 地域の「ひと・もの・こと」に触れながら地域について、知る、調べる。
- 地域の歴史や文化、現代の課題、未来の姿などを調べ、考えることで、誇りや愛着を育む。

## for 地域のために行動・実践する

- 地域行事や地域のボランティア等へ参加する。
- 地域の課題を発見し、解決に向けた提案、課題解決への実践などを経て、自分たちも地域の役に立てる、地域を守り、創っていく一員だという自覚や当事者意識の醸成を図る。

## with 地域と共に未来を描く

- 地域のことと自分の未来を繋げて考え、自分という「個」の未来だけでなく、「地域」や「社会」の未来のことも考えるように促す。

## 生活習慣・健康・体力

- 食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でできるようにする。
- いろいろな遊びの中で伸び伸びと十分に体を動かすようにする。

## 生活習慣・健康・体力

- 自分の健康に関心をもち、運動、食事、睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。
- 運動遊びを通して、体を動かすことを楽しみ、いろいろな運動ができる力を育む。

## 生活習慣・健康・体力

- 生活リズムを整えるなど、自らの力で基本的な生活習慣の確立を図る。
- 運動部活動や体育行事など様々な経験を通して、運動に親しむ習慣を身に付ける。

## 生活習慣・健康・体力

- 社会的自立に向けて、生涯にわたり健康な生活を営むため、望ましい生活習慣の確立を図る。
- 健康の保持増進のため、主体的に運動・スポーツに取り組む力を育む。
- 生涯にわたり運動に親しみ、楽しむ力を育む。

- 優しく抱き、良いところをほめる。
- 子どもの話を聞き、気持ちを受け止める。
- 早寝早起きなどの基本的な生活習慣が、気持ちよい生活につながることを気づかせる。
- 自然の中で遊ぶなど、本物の体験をさせる。

- ほめて良いところを伸ばし、悪いことはきちんと諭す(叱る)。
- 子どもの話を聞き、会話を楽しむ。
- 基本的な生活習慣を自分で身に付けるよう促す。
- 自分の良さを知り、その良さを生かすことができるよう励ます。

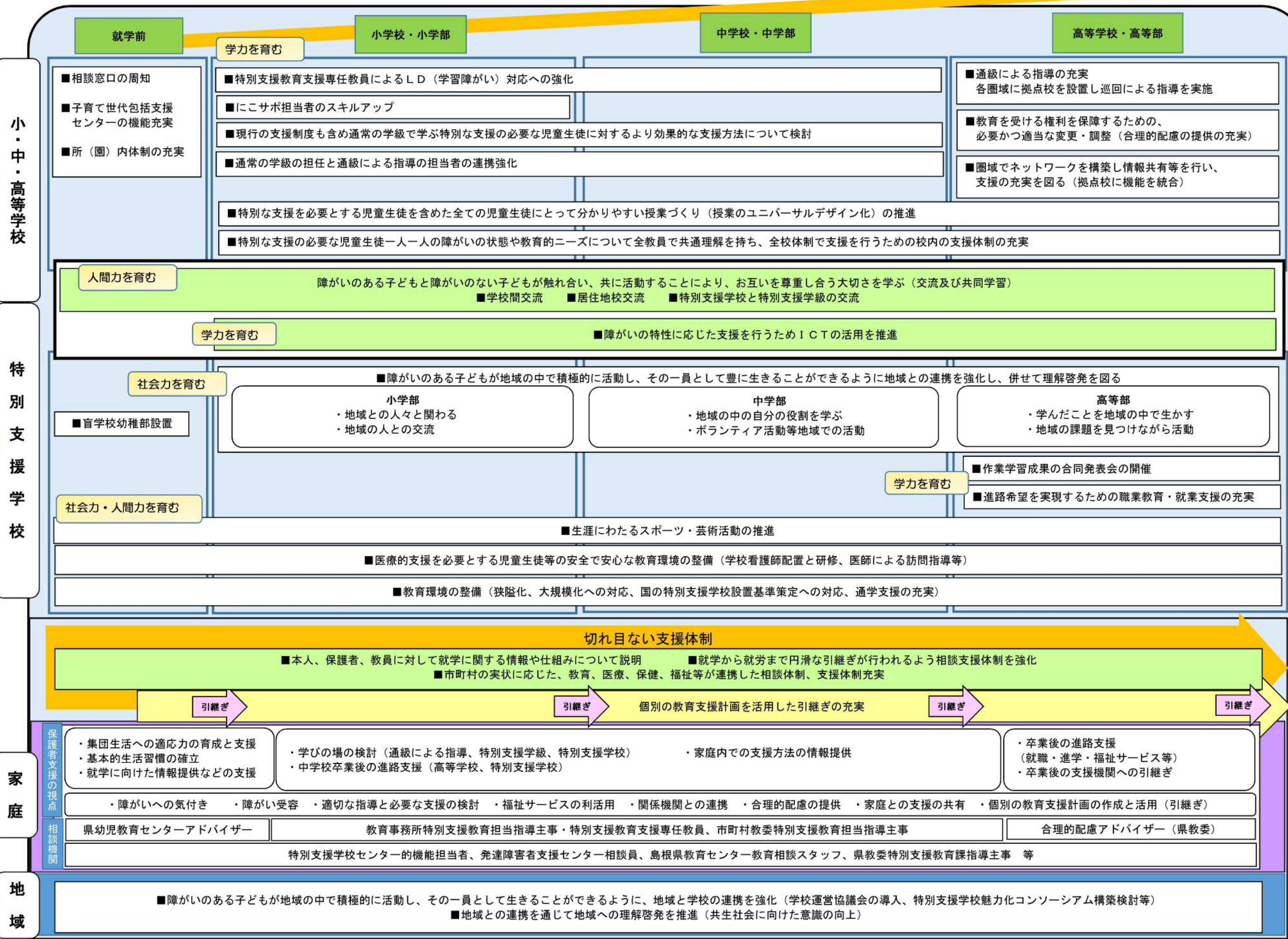
- しっかりほめ、しっかり諭し(叱り)、励ます。
- 話を真剣に聞き、思いを受け止め、相談に乗る。
- 望ましい生活習慣のリズムが確立できるよう促す。
- 自分の良さを生かし、目標に向けて努力できるよう相談に乗り、励ます。

- 最良の理解者として、温かく見守り、支える。
- 人生の先輩として相談に乗り、アドバイスする。
- 自分のことは自分で計画・実践する大人としての生活リズムが確立できるよう支援する。
- 社会の一員として、自分が生かせる目標をもち、達成に向けてチャレンジできるよう、物心両面で支援する。

家庭  
地域

ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人

家庭・地域と連携・協働した特別支援教育の展開



連携・協働

ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人

地域の中で障がいのある子どもが持てる力を十分に発揮し、力強く、自分らしく生きる